

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 2020年9月11日

【四半期会計期間】 第89期第3四半期(自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)

【会社名】 株式会社ミロク

【英訳名】 Miroku Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 弥 勒 美 彦

【本店の所在の場所】 高知県南国市篠原537番地1

【電話番号】 088(863)3310(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部本部長 古 味 俊 雄

【最寄りの連絡場所】 高知県南国市篠原537番地1

【電話番号】 088(863)3310(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部本部長 古 味 俊 雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第88期 第3四半期 連結累計期間	第89期 第3四半期 連結累計期間	第88期
会計期間		自 2018年11月1日 至 2019年7月31日	自 2019年11月1日 至 2020年7月31日	自 2018年11月1日 至 2019年10月31日
売上高	(千円)	11,539,373	10,428,562	15,368,111
経常利益	(千円)	1,183,134	727,778	1,269,572
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	779,019	414,689	938,895
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	863,351	388,624	975,401
純資産額	(千円)	13,318,193	13,752,123	13,514,027
総資産額	(千円)	16,893,353	17,195,175	17,355,802
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	268.16	140.54	322.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	78.8	80.0	77.9

回次		第88期 第3四半期 連結会計期間	第89期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年5月1日 至 2019年7月31日	自 2020年5月1日 至 2020年7月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	73.52	40.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある以下の事項が発生しております。

なお、文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、主力三事業において、限定的ではありますが受注の減少等による業績への影響が出ております。当該経営環境が長期化した場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け大幅に悪化し、厳しい状況となりました。一方海外情勢も同様に、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経済活動が停滞し、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

財政状態

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて160,626千円減少し、17,195,175千円となりました。

主な要因は、たな卸資産が98,286千円、機械装置及び運搬具が283,504千円増加したものの、現金及び預金が371,726千円、受取手形及び売掛金が194,805千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて398,722千円減少し、3,443,051千円となりました。

主な要因は、短期借入金が100,000千円、未払法人税等が131,697千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて238,096千円増加し、13,752,123千円となりました。

主な要因は、利益剰余金が264,578千円増加したこと等によるものであります。

経営成績

当第3四半期連結累計期間の売上高は10,428,562千円(前年同期比9.6%減)、経常利益は727,778千円(前年同期比38.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は414,689千円(前年同期比46.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

a 猟銃事業

ボルトアクションライフルの販売数量は前年同期を上回りましたが、上下二連銃については新型コロナウイルス感染拡大の影響によるキャンセルがあったことから、販売数量は前年同期を下回りました。特に上下二連銃では、付加価値の高い製品の販売が伸びなかったことなどから売上高、利益ともに前年同期を下回りました。その結果、売上高は5,902,733千円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益(営業利益)は479,384千円(前年同期比28.3%減)となりました。

b 工作機械事業

機械部門は一定の受注残を確保しているものの、販売台数及び高価格製品が高水準であった前年同期と比べ、売上高、利益ともに減少しました。ツール部門は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、販売先である企業の生産が停滞したため販売数量が伸びず、売上高は前年同期と比べ大きく減少しました。また加工部門も同様に影響を受け、前年同期と比べ若干の減少となりました。その結果、売上高は1,771,402千円(前年同期比23.6%減)、セグメント利益(営業利益)は315,356千円(前年同期比48.2%減)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高81,452千円を含んでおります。

c 自動車関連事業

木製ステアリングハンドルでは、付加価値の高い純木製ステアリングハンドルの販売は前年同期を上回ったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外生産車向け部分ウッドステアリングハンドルの販売が大きく落ち込み、売上高、利益ともに前年同期と比べ減少しました。その結果、売上高は2,833,893千円(前年同期比10.7%減)、セグメント利益(営業利益)は1,858千円(前年同期比51.3%減)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は11,930千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年9月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,005,441	3,005,441	東京証券取引所 (市場第2部)	単元株式数は100株 であります。
計	3,005,441	3,005,441		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年5月1日～ 2020年7月31日		3,005,441		863,126		515,444

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年4月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,300		単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,987,300	29,873	単元株式数 100株
単元未満株式	普通株式 14,841		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,005,441		
総株主の議決権		29,873	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式18株が含まれております。

【自己株式等】

2020年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株)ミロク	高知県南国市篠原537-1	3,300		3,300	0.11
計		3,300		3,300	0.11

(注) 当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式に含めております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
取締役(非常勤)	安岡 憲祐	2020年2月6日 (逝去による退任)

(2) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性10名 女性 名 (役員のうち女性の比率 %)

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年5月1日から2020年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,851,110	2,479,383
受取手形及び売掛金	2,064,657	1,869,852
たな卸資産	3,939,079	4,037,365
その他	267,451	399,871
貸倒引当金	173	153
流動資産合計	9,122,124	8,786,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,866	1,418,487
機械装置及び運搬具(純額)	1,505,482	1,788,987
土地	1,687,995	1,687,995
その他(純額)	139,671	173,298
有形固定資産合計	4,790,017	5,068,769
無形固定資産	63,366	76,540
投資その他の資産		
投資有価証券	2,767,381	2,641,825
その他	625,892	634,902
貸倒引当金	12,980	13,180
投資その他の資産合計	3,380,293	3,263,546
固定資産合計	8,233,677	8,408,856
資産合計	17,355,802	17,195,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,962	1,098,152
短期借入金	100,000	
1年内返済予定の長期借入金		200,000
未払法人税等	186,097	54,399
賞与引当金	156,798	178,244
役員賞与引当金	39,292	20,214
その他	818,196	671,481
流動負債合計	2,384,346	2,222,492
固定負債		
長期借入金	400,000	200,000
役員退職慰労引当金	166,311	160,606
退職給付に係る負債	637,288	618,053
その他	253,827	241,899
固定負債合計	1,457,428	1,220,559
負債合計	3,841,774	3,443,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	11,617,351	11,881,930
自己株式	30,264	30,681
株主資本合計	13,003,992	13,268,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,595	460,428
為替換算調整勘定	29,438	23,541
その他の包括利益累計額合計	510,034	483,969
純資産合計	13,514,027	13,752,123
負債純資産合計	17,355,802	17,195,175

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年7月31日)
売上高	11,539,373	10,428,562
売上原価	9,562,004	8,958,122
売上総利益	1,977,369	1,470,440
販売費及び一般管理費	894,661	856,412
営業利益	1,082,707	614,028
営業外収益		
受取配当金	30,391	27,158
持分法による投資利益	25,272	25,970
助成金収入	1,292	28,994
その他	46,920	32,712
営業外収益合計	103,877	114,836
営業外費用		
支払利息	2,268	387
その他	1,182	698
営業外費用合計	3,450	1,085
経常利益	1,183,134	727,778
特別利益		
受取保険金	97,269	4,363
補助金収入	2,664	7,397
特別利益合計	99,934	11,760
特別損失		
固定資産除却損	2,588	2,126
投資有価証券評価損	81,336	100,459
特別損失合計	83,924	102,586
税金等調整前四半期純利益	1,199,144	636,952
法人税等	420,124	222,262
四半期純利益	779,019	414,689
親会社株主に帰属する四半期純利益	779,019	414,689

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年7月31日)
四半期純利益	779,019	414,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,871	22,038
為替換算調整勘定	3,790	3,488
持分法適用会社に対する持分相当額	19,748	537
その他の包括利益合計	84,332	26,065
四半期包括利益	863,351	388,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	863,351	388,624

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
減価償却費	424,113千円	486,420千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月7日 取締役会	普通株式	73,913	25.00	2018年10月31日	2019年1月30日	利益剰余金
2019年6月7日 取締役会	普通株式	73,909	25.00	2019年4月30日	2019年7月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月6日 取締役会	普通株式	75,058	25.00	2019年10月31日	2020年1月29日	利益剰余金
2020年6月9日 取締役会	普通株式	75,053	25.00	2020年4月30日	2020年7月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,051,407	2,308,780	3,173,723	11,533,911	5,461	11,539,373		11,539,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高		9,847		9,847		9,847	9,847	
計	6,051,407	2,318,628	3,173,723	11,543,759	5,461	11,549,220	9,847	11,539,373
セグメント利益 又は損失()	668,192	608,843	3,819	1,280,855	4,457	1,276,398	193,691	1,082,707

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失()の調整額 193,691千円には、セグメント間取引消去3,448千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 197,139千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,902,733	1,689,949	2,833,893	10,426,576	1,986	10,428,562		10,428,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高		81,452		81,452		81,452	81,452	
計	5,902,733	1,771,402	2,833,893	10,508,029	1,986	10,510,015	81,452	10,428,562
セグメント利益	479,384	315,356	1,858	796,600	805	797,405	183,377	614,028

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 183,377千円には、セグメント間取引消去 10,222千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 173,155千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	268円16銭	140円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	779,019	414,689
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	779,019	414,689
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,905	2,950

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第89期(2019年11月1日から2020年10月31日まで)中間配当については、2020年6月9日開催の取締役会において、2020年4月30日の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	75,053千円
1株当たりの金額	25円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年7月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年9月10日

株 式 会 社 ミ ロ ク
取 締 役 会 御 中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久 保 誉 一

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 田 秀 樹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミロクの2019年11月1日から2020年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年5月1日から2020年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミロク及び連結子会社の2020年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。